



子どもの発信が大人を動かす

子ども県議会

昨年末の12月25日(月)、県議会議員が実際に利用している滋賀県議会議場で『子ども県議会』が開催されました。7月に知事から任命された「子ども議員」が、これまでに7回の学習会を終え、知事や副知事、教育長、県庁の〇〇部長を相手に質問をぶつけました。

- ・MLGs(Mother Lake Goals)を広めるアプリを開発し、ミッションを達成することで、いつまでも美しい琵琶湖の自然を守ってもらう方策について
 - ・貴重な滋賀の歴史文化をアピールし、滋賀の良さが詰まったテーマパークを作るなど、「文化・観光県」として滋賀県を発展させる方策について
 - ・公共交通機関だけでなく、県民総出で、高齢者が安心して出かけることができる助け合いのシステムを持った滋賀県にする方策について
 - ・ゴミや外来種から琵琶湖固有種の生物を守る方策について
- など、小中学生が考えた案について、知事等が答弁をするやりとりを拝見しました。新旭北小からも2名が子ども議員に任命され、2人は、すべての質問・答弁の後に、7つの「子ども宣言」を発表する役割を果たしていました。このように、自らすすんで発信し、新しいことにチャレンジする心を育てていきたいと感じる時間でした。

※ MLGs…滋賀県では、「琵琶湖」を切り口とした2030年の持続可能社会へ向けた13の目標を掲げています。



「未来高島市の創造」を提言(湖西中学校)

次は、滋賀県ではなく高島市への提言についてです。これは、北小学校の児童の行動ではなく、湖西中学校からいただいた情報の紹介です。

11月30日(木)に湖西中学校3年生が、高島市役所で発表会を行いました。これは、高島市の現状や課題を踏まえた上で、その改善策について提案する問題解決学習のまとめとして実施されたものです。そこで出された内容は…

- ・高島の食文化を見直そう
- ・四季折々の美しさを持った高島の魅力を発信し、観光のまちづくりを
- ・人と人がつながり合い、高齢者も生き生きと幸せに暮らせる高島市に
- ・高島市内の伝統文化を守り輝かせるために
- ・SDGsの視点を大切にすることで未来に誇れる高島市に

など、15のプレゼンテーションを行ったそうです。コメンテーターとして参加した市役所の職員や高島経済会の方々は、プレゼンテーションの技術やナレーション、想像力豊かな発想、そして、ネーミングのセンスについて感心され、「郷土に愛着をもって、堂々と語る姿に、明るい未来を感じさせられた。」「素晴らしい知恵を貸してほしい。」とも話しておられました。(一部、「湖西の風」(湖西中学校だより)を引用しています。)

「みどりプロジェクト発表会」を開催します

1学期から2学期前半に取り組んだ地域学校協働活動について子どもたちが発表をします。これまでに子どもたちは、各地区に分かれ、何ができるかアイデアを出し合い、いろんな人に交渉をしながら活動を進めました。そのなかで悩んだり困ったり、失敗したりしながら、でも、やってみて地域のみなさんが喜んでくださるのを肌で感じ、やりがいを感じていました。その活動をまとめ、発信し、来年につなげます。

こうした発信の経験が、上記のような中学校での活動につながってくれることを願っています。

積雪や感染状況が心配ですが、授業にかかわってくださったサポーターのみなさま、自治会役員のみなさま、5.6年保護者のみなさまにもご覧いただく予定をしています。

2月22日(木) 14:15~

(自治会役員様向けの説明会は13:30~)

詳細は、あらためてご案内します。

「清水安三先生」に学ぶ

新旭地域の先人である清水安三先生をご存知でしょうか。新旭町名誉町民でもある先生の教えを後世にも伝えていきたいとの思いから設立された「清水安三先生顕彰会」のメンバーの方々が、毎年出前授業をしてくださっています。小学校で学んだことを中学校へつなげるための学習です。今年度も、1月18日(木)に学校にお越しただいて6年生児童が授業を受けました。

1891年、北畑にお生まれになった先生は、1917年に中国に渡られました。そして、その中国を襲った大飢饉で多くの子どもたちが犠牲になるなか、800人近くもの幼い子どもたちを施設に引き取り、育て、学びを教え、1年後に親の元へ送り届けたそうです。また、日中戦争が起こり、中国軍が北京城に立てこもった際には、日本軍との衝突で北京市街が火の海に見舞われることを懸念し、日中双方の軍幹部と北京の文化人をつないだおかげで、市民が血を流すことなく、多くの市民の命と歴史的に高い価値のある文化遺産を守り通しました。このように先生は、国境を越えて人を大切に、平和を愛する生き方をされてきました。そして、中国で女子教育のための学校を設立されました。終戦の翌年に日本に帰国してからは、東京に桜美林学園を創立されるなど、日本の教育に貢献されました。

湖西中学校前の道路沿いに「学而事人の道」と書かれたのぼり旗が並んでいるのを見たことがある人も多いと思いますが、この「学而事人」とは、清水安三先生がずっと大切にされてきた言葉で、「学問は決して自分のためだけにするものではありません。身につけた力を社会に役立てることが大切です」という意味があります。ちなみに新旭町内の3つの小中学校のボランティア組織(「むくげの花の会」(湖西中)「夢の会」(南小)「希望(のぞみ)の会(北小)」)の名称は、それぞれ清水安三先生にちなんだ言葉を使っています。



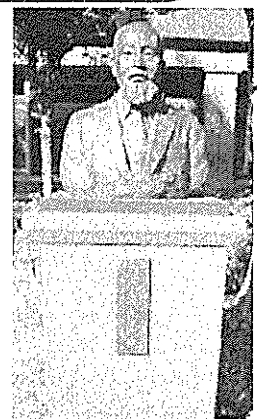
授業後のふりかえりには…

- ・夢をあきらめない、信念を通すことの大切さを学んだ。
- ・私も、〇〇になりたいという将来の夢をあきらめずにがんばりたい。
- …などの言葉が綴られていました。

清水安三の銅像

市役所敷地内に清水安三先生の銅像があります。

これと同じ銅像が、桜美林大学(東京)と、陳経綸中学(中国北京)にもあります。



PTAリユース事業(お礼・お願い)

日頃よりPTA活動にご協力いただきありがとうございます。たくさんのリユース品が集まりました。新入生向けのサイズのもの、1月19日の入学説明会の際に展示をさせていただきました。大きめのサイズのものなど、上級生で使っていただけのものは、2月8日学習参観の際に展示をする予定です。

なお、リユース品は今後も受け付けておりますので、卒業後にお持ちいただいてもかまいません。有効に活用させていただきます。

清水安三先生顕彰会講演会 新旭公民館講座 のご案内

清水安三先生と私

講師 三谷 高康氏

1950年大阪府生野区に生まれる。1968年大阪府立大津高等学校卒業。1993年アソシエイト・エディター兼編集長。1993年アソシエイト・エディター兼編集長。2006年に桜美林大学に転校。2012年から2016年まで新旭町立湖西中学校に勤務。2021年4月より新旭町立湖西中学校に勤務。

日時 2024年2月17日(土) 13:30~14:00 / 14:00~15:00

場所 新旭公民館2階多目的ホール 料金 無料

2月 学校行事予定

| | | | |
|--------|-----------------------------|---------|------------------------|
| 1日 (木) | 3年生警察署見学 | 11日 (日) | 建国記念の日 |
| 2日 (金) | 4年スキー教室 PTA(新)実行委員会 | 12日 (月) | 振替休日 |
| 5日 (月) | 希望の会の日 学年費口座振替(1.2.4.5年) | 14日 (水) | 委員会活動 |
| 6日 (火) | 5年スキー教室 | 18日 (日) | 家読の日 |
| 7日 (水) | 登下校指導日 | 19日 (月) | 新旭町内研修のため5校時日課 |
| 8日 (木) | 学習参観 4年生ひびきあい活動 | 22日 (木) | 地域学校協働活動発表会 学校運営協議会 |
| | | 23日 (金) | 天皇誕生日 |
| | | 26日 (月) | ブックトーク(3~6年) |